

成人学習支援事業
オプション企画

大人の学びを考える
…次の一歩を見つけよう…



大人の学びを考える …次の一歩を見つけよう…

1. 概要

日時：令和8年3月1日（日）13:00～15:15

参加者：31名（アドバイザー・職員を含む）

会場：セッション杉並 8・9・10集会室

登壇者：総合コース 学習支援者 伊藤 剛
地域コース 学習支援者 矢野 恒
はじめの一歩コース 学習支援者 荻上 健太郎
U30ミーティング コーディネーター 柴田 真光

2. 目的

- ・社会教育センターの成人学習支援事業の枠組み、学習支援者の話、他のコースの受講生の話の聴いて、「大人の学び」についての気づきを得る。
- ・さまざまな選択肢から、自分にとっての「次の一歩」を考えたり見つけたりする。

3. 参加者

- ・すぎなみ大人塾総合コース、地域コース、はじめの一歩コース、U30ミーティングの受講生
- ・すぎなみ大人塾連の方々、社会教育委員の方々、アドバイザー、成人学習支援事業担当職員

4. 参加者データ（年代内訳）

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
5	1	1	5	11	6	2	31名

5. プログラム

1. はじめのあいさつ
2. 社会教育センターの成人学習支援事業の枠組み
3. 4つのコースの学びを知る
4. グループワーク 自己紹介 この1年の学びを共にふりかえる
5. 個人ワーク 今日の気づき・大人の学び・次の一歩
6. 全体ワーク 「大人の学び」と「次の一歩」
7. おわりのあいさつ

Learn Thinking
大人の学びを考える
～次の一歩を見つけよう～
2026年 3月 1日 日
13:00-15:15
開場 12:45

今年度の学びを振り返りながら、学びの場をつくる人の考え方を聞いてみよう！
これからの学びに役立つヒントが見つかるかも！

定員 40名(申込済)
会場 セッション杉並 3F
棟号 1-2-3-2

GUEST 伊藤 剛
（すぎなみ大人塾総合コース学習支援者（特）アドバイザー（代））
荻上 健太郎
（すぎなみ大人塾はじめの一歩コース学習支援者 聖治学院大学准教授）
矢野 恒
（すぎなみ大人塾地域コース学習支援者 杉並区立 杉並づくりコーディネーター）
柴田 真光
（U30ミーティングコーディネーター ナイースマイル（株）代表）

申込コード
QRコード

社会教育センター 03-3317-6601 mail: shoyou@city.sugina.jp

6. 開催までの経緯

令和6年度に引き続き、2回目の実施となりました。学習支援者やコーディネーターの方々と打ち合わせを行い、プログラムを作成しました。まず職員から、社会教育センターの成人学習支援事業の枠組みや「すぎなみ教育ビジョン2022」との関連を説明し、その内容を踏まえて学習支援者の皆さんに各コースのプログラム等を紹介していただく構成としました。後半には、異なるコースで学んだ参加者同士が話を聴き合うグループワークを取り入れ、インプットとアウトプットの両面を通して、ご自身の学びへの気づきが得られるような工夫をしました。

7. 当日の様子

◆社会教育センターの成人学習支援事業の枠組み

まず、社会教育センターのパンフレットを参照しながら、現在社会教育センターで開催している「すぎなみ大人塾」と「すぎなみ U30ミーティング」の中の4つのコースを確認しました。

次に、平成17年度から令和7年度までの成人学習支援事業の年表を見ながら、これまでの変遷を俯瞰しました。

最後に、現在の4つのコースに深く関連する「すぎなみ教育ビジョン2022」の基本的な考え方と、それを踏まえて社会教育センターが示している「大人の学び」のイメージ図を改めて共有しました。



◆4つのコースの学びを知る

成人学習支援事業の枠組みの中で、4つのコースの学習支援者やコーディネーターが、どのような考えでプログラムを組み立てているかを、それぞれ10分程度で話していただきました。4つのコースにそれぞれ特徴がありました。当然、相違点もありながら共通点もあり、参加者にも職員にも貴重なインプットの時間となりました。



◆グループワーク 自己紹介 この1年の学びを共にふりかえる

グループワークは、4～5名で行いました。グループは、できるだけ異なるコースで学んだ方同士が組み合わさるように、さらに年代や性別も混在するようにしました。職員も各グループに加わり、それぞれの1年間の学びについて互いに耳を傾けました。自分の学びを言語化して他者に伝えることで、内容が整理されたという声がありました。また、自分とは異なるコースでの取り組みや経験を聴くことを通して、次の一步を考える参考になったという感想も寄せられました。



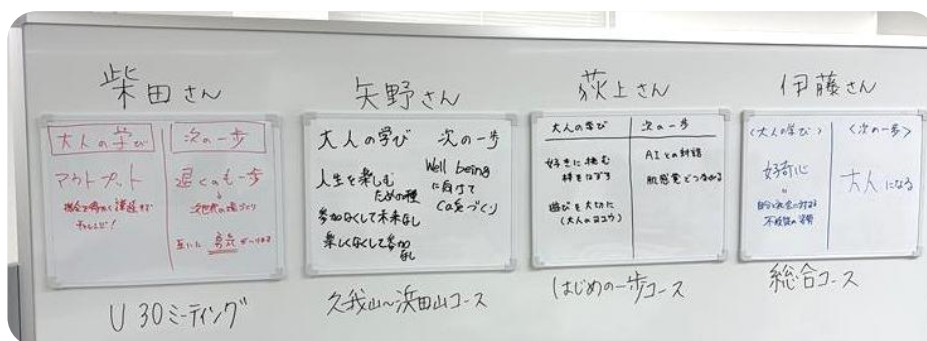
◆個人ワーク 今日の気づき・大人の学び・次の一步

インプットタイムを終えた後は、一人で取り組む個人ワークを行いました。「今日の気づき」、「大人の学び」、「次の一步」というキーワードで、ワークシートに向き合いながら黙々と書き進める、静かな沈黙の時間となりました。

◆全体ワーク 「大人の学び」と「次の一步」

個人ワークで記入した「大人の学び」と「次の一步」を隣の方と互いに伝え合いました。今日が初対面という方も多くいましたが、最初のグループワークで交流をしていたこともあり、とても和やかな雰囲気の中でお互いの話に耳を傾けている様子が印象的でした。

最後に、4人の学習支援者・コーディネーターの皆さんから、それぞれが考える「大人の学び」と「次の一步」を語っていただきました。参加者の方々は、ご自身の考えと重ね合わせながら話を聴き、新たな気づきを得られたようでした。



参加者の声

「大人の学び」や「次の一歩」について、どのような気づきがありましたか？

001 |

杉並区での社会教育の活動を知ることができました。さまざまな学びや地域活動を知ることができてよかったです。これから自分に合ったペースで参加できる活動を探していきたいと思います。まずは大人塾まつりや七夕まつりに行ってみようと思います。

002 |

大人になっても好奇心を大切に生きることが大切と気づきました。

003 |

大人の学びは、好奇心をもって行動していくこと、楽しむこと、というお話が響きました。介護生活をしていて時間的制約がありますが、すき間時間を活用して、可能な限り好奇心にしたがって学び続け、人との出会いを楽しみながら私なりの地域貢献をしたいと思います。

004 |

学習支援者の方々のお話や、グループワークを通して、自分自身の中だけでは生まれてこない視点や気づきを得ることができました。ヒントとなるワードもあり、また新たな刺激になりました。

005 |

普段考えているつもりでも、言語化することで改めて考える機会になりました。

006 |

好奇心とワクワクを常に抱いて生活すること

007 |

好奇心を持ち続ける大切さ。共感によって解決することの大切さ。

ご感想・ご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

008 |

80歳を過ぎて一人暮らしをするようになって、やっと「人間」を考えられるようになり、遅まきながら行政のこのような取組を発見して単純に楽しいです。ただ、若い方は生活があり、嫌でも働かなくてはならないその中でこのような集まりに参加する方、そして、まとめてくださる方、研究して下さる方々に感謝します。これまでは講座風の企画が目立ったように思いますが、このように一人一人が「考える」機会が増えて、より多様化した人たちが違いを楽しみながら社会をみんなで作っていただければいいなと感じました。

009 |

大人の学びを啓発して下さる企画・講座だと思います。よいきっかけになりました。

010 |

総合コースの伊藤さんのお話に感銘を受けました。昨年参加したゲンゴカ・ラボは、私には難しい内容ではありましたが、学んだことで視野や興味が広がり、さらに学びたくなり、受講後の生活が豊かになり、感謝しています。次年度もさらに学びたくなるきっかけの種をまいていただける企画を期待しています。



すぎなみ大人塾連の活動

社会教育センターでは
講座修了後のつながり・広がり
を支援しています

令和8年度に22年目を迎えるすぎなみ大人塾。

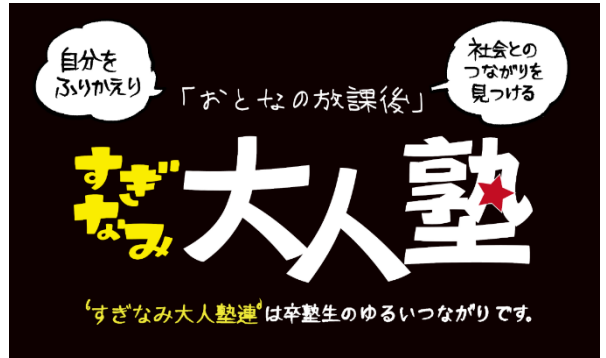
「講座で学んだ発想やつながりを活かして、地域で活動したい！」
「自分でイベントなどの企画を立ててみたい！」
という講座修了者も数多く、大人塾まつりなどで
つながりをつくり続けてきました。

すぎなみ大人塾連世話人会は、卒塾年度を超えたメンバー同士の
情報共有、交流、活動などの場となっています。



大人塾連 活動の広がり

すぎなみ大人塾連は、すぎなみ大人塾を卒業したすべての人たちのゆる〜いつながりです。毎月第3金曜日に世話人会を開き、それぞれの活動の情報共有や大人塾まつり、主催講座など、大人塾連が主体となって行う活動に向けての話し合い等を行っています。日頃それぞれが学校運営協議会委員などとして地域と関わり、活動をしなが、それらをゆるやかにつなぐ大人塾連の存在は、ほかの地域からも注目を集めています。



社会教育センターとの関わり

大人塾「地域コース」の運営協力

平成 29 年度からはじまった大人塾地域コースの運営に協力しています

共催事業

すぎなみ大人塾まつり
「すぎなみフェスタ」出展
講演会、ワークショップ
など

すぎなみ大人塾連

- ・月 1 回（第 3 金曜日）の世話人会での活動情報共有
- ・大人塾連として行うイベントの企画、検討など

CS 部会

- ★学校の捉えなおし
- ・地域の側から学びの未来を考える
- ・生きる力を育む
- 「CS を考える！ワークショップ」の開催

居場所 & 出番部会

- ★公共の捉えなおし
- ・アナタのキカイをまちなかに
- 「CO-en プロジェクト」の実施

ウェルビーイング部会

- ★コミュニケーションの基盤の捉えなおし
- ・受け止める行為の先の自分
- ・多様な主体と協働のベース
- 講演会「手話で感じるコンサート」の開催

卒業生の活動

- ◎新たな会を結成
 - ・まちナカ・コミュニティ 西荻みなみ
 - ・OgiLOVE
 - ・ノリの里の会
 - ・はじめの一步コース オフ会 などなど
- ◎さらなる学び
 - ・すぎなみ地域大学などの区内外の講座などで

地域との関わり

- ◇地域行事への参加
- ◇地域活動団体立上げ

◇区民活動運営への参加

- ・地域区民センター協議会委員・社会教育委員
- ・学校運営協議会委員・NPO 等活動推進委員 …など。

令和7年度大人塾連の主な事業の実施状況

開催日	内 容	参加者数
5/17	大人塾まつり (月に1回実行委員会を開催)	1,200人
5/26～28	杉並第六小学校ハリボテクラブの指導	20人
8/7～12	阿佐谷七夕まつりにハリボテ出展	来場者約75万人
11/10	すぎなみフェスタに参加	200人
R8/2/25	地域の「私」が教育を考える 「アルアルもやもや」から「ワクワクこれから」のCSを考える！	36人
R8/3/14	手話で感じるコンサート 音楽を見る もうひとつの楽しみ方	23人

大人塾まつり

概要

期 間：令和7年5月17日（土）10：00～15：00

場 所：セッション杉並

参 加 者：1,200人

経緯

すぎなみ大人塾開講20周年を迎え一層の飛躍を目指し「新たな出会い」をテーマに、「つながりながら大人塾」をキャッチコピーとし地域の人々や団体との交流を深めることを目指しました。今回の実行委員会は、令和6年4月から毎月1回開催して検討を重ね、1年以上かけて準備を進めました。

今回初めて、近隣の児童館、中学校、高等学校、大学に参加を呼び掛けて参加してもらいました。その結果、紙で作った美味しそうなお弁当の展示やホールで大学生と中学生の吹奏楽のコラボレーション、全館を回る「謎解きゲーム」が実現でき、小中高大学生たちが大活躍して大人塾まつりを共に創りあげてくれました。

当日は5月には珍しい大雨でしたので、中庭は使えずすべて屋内で開催しましたが、大勢の方が参加されました。従来の展示・ワークショップ・物品販売・食の販売も例年に負けない賑わいでした。

活動を通して

まつり終了後の振り返りを兼ねた打ち上げに多くの方々に参加され、各地域団体、出店者、大学生の参加者などがお互いの交流を深め、次回の大人塾まつりにさらに士気があがりました。

大人塾まつりは、杉並区における社会教育の拠点である社会教育センターの所在地「セッション杉並」全館を使用している恒例のイベントです。大人塾連、大人塾、社会教育センターだけでなく、地域の方々や団体を巻き込んだ多世代交流の機会となりました。



打ち上げは大賑わいでした

杉並第六小学校ハリボテクラブの支援

概要

日 時：令和7年5月26日（月）～28日（水）
場 所：杉並第六小学校
参 加 者：20人

開催経緯

大人塾連の長年のハリボテ制作の経験が評価されて、昨年度に引き続き、杉並第六小学校ハリボテクラブの支援を依頼されました。午後の授業時間3日間連続計6コマで、風船を用いたハリボテを製作しました。子どもたちは真剣に取り組み、全員が完成できました。希望する児童の作品は阿佐谷地域区民センターで、その後阿佐谷七夕まつり会場で展示されました。終了後は無事各自のもとに帰りました。

活動を通して

杉並区では地域が支える学校を目指しており、地域の人が学校教育に関わることが歓迎されています。今回の活動はこの趣旨に沿っており、学校と地域の協働に貢献できました。子どもたちが嬉々として作業する姿や新鮮な発想力から、私たち大人が元気を貰いました。卒業する6年生から5年生、4年生、更に次々と伝承される仕組みになることを願っております。



子供たちのハリボテの展示
@阿佐谷地域区民センター

阿佐谷七夕まつりにハリボテ出展

概要

日 時：令和7年8月7日（木）～11日（月・祝）

場 所：阿佐谷パールセンター商店街 住友不動産ステップ店舗前

開催経緯

「地域のお祭りに参加したい！！」との思いから、平成18年から阿佐谷パールセンター商店街のお店の協力を得て、大人塾連のハリボテ作りが始まりました。令和5年は「パンドロぼう」で七夕賞を受賞しました。

毎回、「何を作ろうか」のアイデア募集から始まり、今年度は、いくつかの候補の中から会場となる阿佐谷パールセンターを利用するための交通手段である鉄道4路線「中央線・総武線・丸ノ内線・東西線」の電車で決まりました。リアルな形状より玩具のような形をハリボテで表現しました。

仲間の募集、設計、材料手配、制作・完了、運搬、展示現場での最終調整・つり上げ固定と、初回打ち合わせから展示まで2週間あまり、このうち約10日間は制作に要し、午前中から杉並第六小学校図工室をお借りして、大先輩たちのご指導の下、皆で楽しみながら作業をしました。

小さな子が「電車だ」「中央線だ」「かわいい」などと言っているのを見ました。ハリボテを見て古い時代の電車の思い出話をする人もいて、昔の車両を形にして良かったと感じた七夕でした。11日の22時過ぎから引き降ろしたのち解体し、今年も無事終了しました。

今回、残念ながら賞には選ばれませんでした。参加者の高齢化が進む中で、大先輩たちからバトンを受け継ぐ人材も現れました。来年度以降も継続して出展ができるよう、参加者の輪を広げていきたいと思っています。



完成したハリボテ。左から、丸ノ内線、総武線、中央線、東西線。

このイベントから新しい地域活動・地域交流を

ハリボテ作りは地域の協力を得なければできません。阿佐谷パールセンター商店街の方々をはじめ、展示場所を提供してくれる店舗の方、作業場所を提供してくれる杉六小などに加えて、今年度初めて作業に参加いただいた地域の方々と、参加者の高齢化などにより継続して出展していくことが難しい環境の中で新たな地域活動や地域交流をスタートしていく一歩となりました。

すぎなみフェスタに参加

概要

日 時：令和7年11月8日（土）10：00～15：00
場 所：桃井原っぱ公園
参 加 者：150人（「科学あそび」ブンブンごま作りコーナー）、
15人（笛づくりコーナー）、35人（ミニモルック体験
コーナー）

開催経緯

「すぎなみフェスタ」は、区内のお店や団体、交流自治体などの出店者が集まる大規模な恒例イベントで、11月8日－9日に開催され、延べ93,000人の来場者でした。

今年度の私たちのブースでは、普段の活動の延長線として、科学あそび「ブンブンごま作り」、「笛づくり」と「ミニモルック体験」の3つのコーナーを設けました。

ブンブンごまは、ごみとして廃棄されるカプセルトイのプラスチック・カプセルをコマ本体として使うアップサイクルとしました（右上図）。容易に音が鳴る円筒状ジュース容器は若い参加者へ、鳴らすには少しだけテクニックが必要なメガホン状紙製ヨーグルト容器は小学生以上の子ども達に作ってもらいました。始めは緊張して工作に取り掛かりますが、いずれもストローを吹いて笛の音が聞こえてくると安堵の表情に変わりました。ミニモルック体験（右下図）は、小さい子どもでも遊びやすいミニ版で体験してもらいました。

今回は、すぎなみキッズタウンというコーナーの中の「あそび体験」として出店しましたが、無料だったので、大勢の参加者がありました。

活動を通して

イベントでは、ぶんぶんゴマづくりに挑戦した子どもたちから「ちょっとむずかしいな・・・」という声が上がると、同伴の大人が手伝ってくれるなど、親子での参加が多く、用意した150個はイベント終了1時間前にはなくなってしまいました。モルック体験では、「初めてやる」「聞いたことがあるけど、実際にはやったことがない」との声があるので、小さな子どもでもできるミニモルックで&投げる距離も1mぐらいに設定し、こども対大人や、兄弟・友達同士の対戦でゲームを楽しみました。来年は少し広い場所で体験会をしたいと思いました。笛づくりでは、普通に身の回りにある品が、楽器のように音を鳴らす喜びを体験する良い機会になったようでした。

今後も、多くの人たちの「声」を大切にしながら、誰もが楽しめる場をつくっていきたいです。



ブンブンごま作り



ミニモルックのピンを並べて

地域の‘私’が教育を考える

「アルアルもやもや」から「ワクワクこれから」のCSを考える！

概要

日時：令和8年2月25日（日）18：30～21：00
場所：セシオン杉並 3階 8・9・10集会室
参加者：36人

開催経緯

2024年11月、2025年3月に開催した学校運営協議会実践研究会（通称CS部会）のイベントの第3回目として開催することにしました。

活動を通して

学校との関わりを持つ多様なメンバーと一緒に語り合い、聴き合い、学校と地域の協働を進めることを目指します。



手話で感じるコンサート 音楽を見る もうひとつの楽しみ方

概要

日時：令和8年3月14日（日）19：00～21：00
場所：セシオン杉並 2階講座室
参加者：23人
講師：長谷川恵美里氏（株式会社 CSLI 代表取締役）

開催経緯

聴覚に障がいがある方々が音楽を楽しむのには、どんな方法があるのだろうか？まずは、“聞こえる”人たちが、それを体験し、知ることから始めてみるため、コンサート手話通訳第一人者の長谷川恵美里さんを迎えて開催することとなりました。

講演会を通して

障害の有無、年齢、性別、国籍などに関わらず、すべての人が人格と個性を尊重し合い、支え合って共存する共生社会に向けて様々な取り組みが必要です。今回は聴覚障害と音楽鑑賞に焦点を当てました。本講演をヒントにいろいろな場面で応用して貰えたらと期待しています。



3 部会の活動

コロナ禍で活動が思うようにできないことをきっかけにして、令和 4 年度から 3 つの部会を作り活動していきます。

居場所&出番部会

★公共の捉えなおし “アナタのキカイをまちのなかに”

コミュニティスクール (CS) 部会

★学校の捉えなおし “地域の側から学びの未来を考える” “生きる力を育む地域”

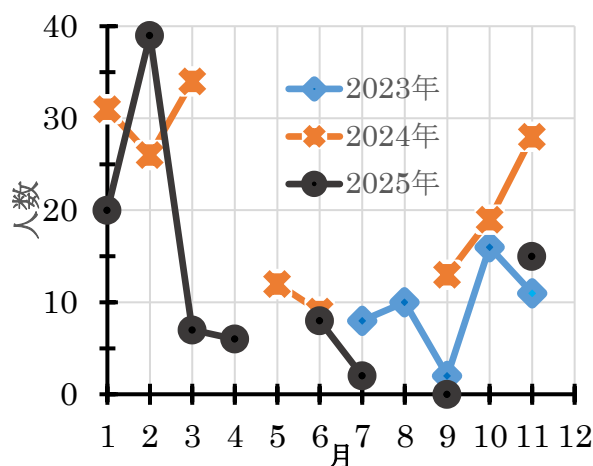
ウェルビーイング部会 (Diversity and Inclusion (D&I) を令和 7 年度より変更)

★コミュニケーションの基盤の捉えなおし “受け止める行為の先の自分” “協働のベース”

居場所&出番部会

活動開始 3 年目を迎え、未だ知らない人もいますがようやく公園利用者にも活動が認知されてきているようです。また、みどり公園課を始め指定管理者も活動を応援してください、円滑な活動を行えています。

参加人数 (右図) は大人気のブンゴマ作りの機会が少ないせいか昨年より減っていますが、参加者と和気あいあいと楽しく行っています。工作や遊びの種類を少しずつ増やして、竹とんぼ飛ばし、紙飛行機作りと飛ばし、ブンゴマ作り、紙カップロケット、風車作り、吹きゴマ作り、牛乳容器ヨーヨー作り、紙カップ笛作りなどを行ってきました。



CS 部会

大人塾連メンバーには、何人も学校運営協議会委員や地域教育推進協議会などの学校関係者がおり、それぞれが個別に学校教育を良くするための活動を進めていますが、学校横断型の話し合いの場がありません。そこで、大人塾連メンバーが中心になって、CS に関する学びを深める場を作ることになりました。今年度は、前述の『地域の '私' が教育を考える 「アルアルもやもや」から「ワクワクこれから」の CS を考える!』を開催しました。

ウェルビーイング部会

ウェルビーイング (Well-being) とは、身体的、精神的、社会的に良好で満たされた状態 (「よく生きる」「良い状態」) を指す概念です。一人ひとりが異なるウェルビーイングの形を持っており、他者のそれと理解し合うことで、共生が促進されます。今年度は、前述の聴覚障害と音楽鑑賞に焦点を当てた講演会「手話で感じるコンサート 音楽を見る もうひとつの楽しみ方」を開催しました。

卒塾生の活動

◎新たな会を結成

平成17年に始まったすぎなみ大人塾から多くの卒塾生が巣立っていきました。卒塾生有志などで立ち上げた自主グループや団体があります。

- ・「西荻コース」から：「まちナカ・コミュニティ西荻みなみ」
 - ・「荻窪コース」から：荻窪を中心とした地域活動団体「OgiLOVE」
 - ・「総合コース」から：当事者研究の自主勉強会「ノリの里の会」
 - ・「はじめの一步コース」から：親睦団体「はじめの一步コース卒塾生オフ会」
- それぞれ新たなメンバーを増やしながら、多岐にわたる活動を行っています。

◎さらなる学び

- ・すぎなみ地域大学などの区内外の講座でさらなる学びを深め、地域活動や社会教育活動を深めています。